

厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 26 年 7 月現在)

1. 総括

(1) 適用状況

- 平成26年7月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,281万人であり、前年同月に比べて、19万人（0.3%）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均 (円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,827,338	35,980,470	22,940,532	13,039,938	304,609
船員以外	1,822,937	35,927,908	22,887,970	13,039,938	304,496
一般男子	・	22,887,354	22,887,354	・	345,420
女子	・	13,039,938	・	13,039,938	232,668
坑内員	・	616	616	・	335,802
船員	4,401	52,562	52,562	・	381,387
国民年金	・	26,834,150	9,057,049	17,777,101	・
第1号	・	17,169,864	8,859,897	8,309,967	・
任意加入	・	254,305	85,846	168,459	・
第3号	・	9,409,981	111,306	9,298,675	・
合計	・	62,814,620	31,997,581	30,817,039	・
人口	・	127,130,000	61,810,000	65,320,000	・
うち20～59歳	・	62,920,000	31,780,000	31,140,000	・
共済組合（平成 25 年 3 月末）	・	4,398,712	2,791,849	1,606,863	・

注1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月1日現在の推計人口（総務省統計局）である。

(2) 給付状況

- 平成26年7月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,313万人であり、前年同月に比べて、31万人（0.7%）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	32,409,447	14,407,350	12,435,031	398,232	5,131,149	37,685
旧共済組合を除く	31,878,096	14,084,779	12,346,801	394,226	5,015,533	36,757
旧 法	1,869,833	744,133	608,065	47,546	434,094	35,995
新 法	29,970,569	13,323,597	11,735,698	345,217	4,566,057	・
（再掲）基礎あり	20,758,618	11,059,496	9,401,371	226,469	71,282	・
基礎または定額あり	21,896,048	11,626,875	10,269,173	・	・	・
基礎繰上げあり	1,745,630	437,794	1,307,836	・	・	・
基礎繰上げなし	20,150,418	11,189,081	8,961,337	・	・	・
基礎及び定額なし	3,163,247	1,696,722	1,466,525	・	・	・
船員保険（旧法）	37,694	17,049	3,038	1,463	15,382	762
旧共済組合計	531,351	322,571	88,230	4,006	115,616	928
旧 法	190,029	144,679	5,854	1,711	36,857	928
新 法	341,322	177,892	82,376	2,295	78,759	・
（再掲）基礎あり	252,926	174,288	76,674	1,874	90	・
国民年金 計	31,731,463	29,055,196	768,349	1,809,628	98,290	・
旧法拠出制	2,015,562	1,167,281	768,349	64,399	15,533	・
新法基礎年金	29,715,901	27,887,915	・	1,745,229	82,757	・
（再掲）基礎のみ	8,135,387	6,617,336	・	1,493,618	24,433	・
福祉年金	1,001	1,001	・	・	・	・
合 計	43,130,367	32,229,763	3,725,335	1,979,517	5,158,067	37,685

注1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。（表3において同じ。）

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第1号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。（表3において同じ。）

- 平成26年7月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、46兆3千億円であり、前年同月に比べて、3千億円（0.7%）減少している。

表3 制度別受給者年金総額

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	25,504,685	17,669,191	2,364,501	295,076	5,166,135	9,782
厚生年金基金代行分除く	23,775,781	16,062,172	2,242,615	295,076	5,166,135	9,782
旧共済組合を除く	24,791,444	17,118,869	2,342,385	290,971	5,029,658	9,561
旧 法	2,013,020	1,273,266	229,362	55,474	445,550	9,367
厚生年金基金代行分除く	1,990,122	1,254,349	225,382	55,474	445,550	9,367
新 法	22,701,596	15,797,158	2,111,973	232,470	4,559,994	・
(別掲) 基礎年金	14,088,967	7,699,219	6,128,330	191,465	69,953	・
厚生年金基金代行分除く	20,995,589	14,209,057	1,994,068	232,470	4,559,994	・
船員保険 (旧法)	76,828	48,444	1,050	3,026	24,114	194
旧共済組合計	713,241	550,322	22,115	4,105	136,477	221
旧 法	384,109	335,291	2,739	2,621	43,237	221
新 法	329,132	215,031	19,376	1,484	93,240	・
(別掲) 基礎年金	185,855	128,609	55,612	1,546	88	・
国民年金 計	20,763,196	18,937,510	169,702	1,562,555	93,428	・
旧法拠出制	793,129	560,289	169,702	56,102	7,036	・
新法基礎年金	19,970,067	18,377,222	・	1,506,454	86,392	・
(再掲) 基礎のみ	5,406,256	4,086,976	・	1,294,675	24,605	・
福祉年金	396	396	・	・	・	・
合 計	46,268,277	36,607,098	2,534,203	1,857,631	5,259,563	9,782

注1. 年金総額には一部停止額を含む。

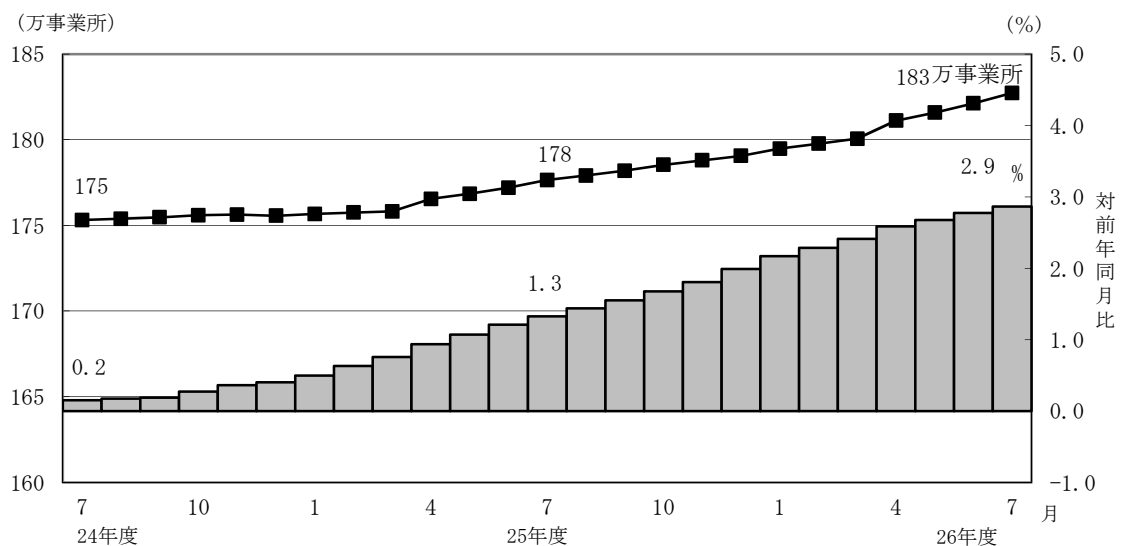
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

2. 厚生年金保険

(1) 適用状況

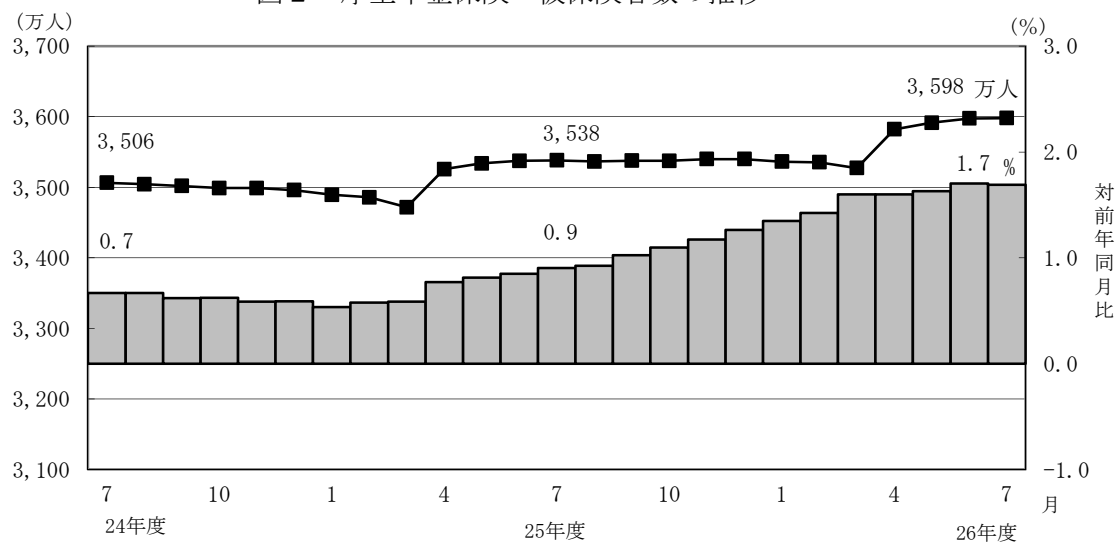
- 平成26年7月末の厚生年金保険の適用事業所数は183万事業所であり、前年同月に比べて5万事業所（2.9%）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



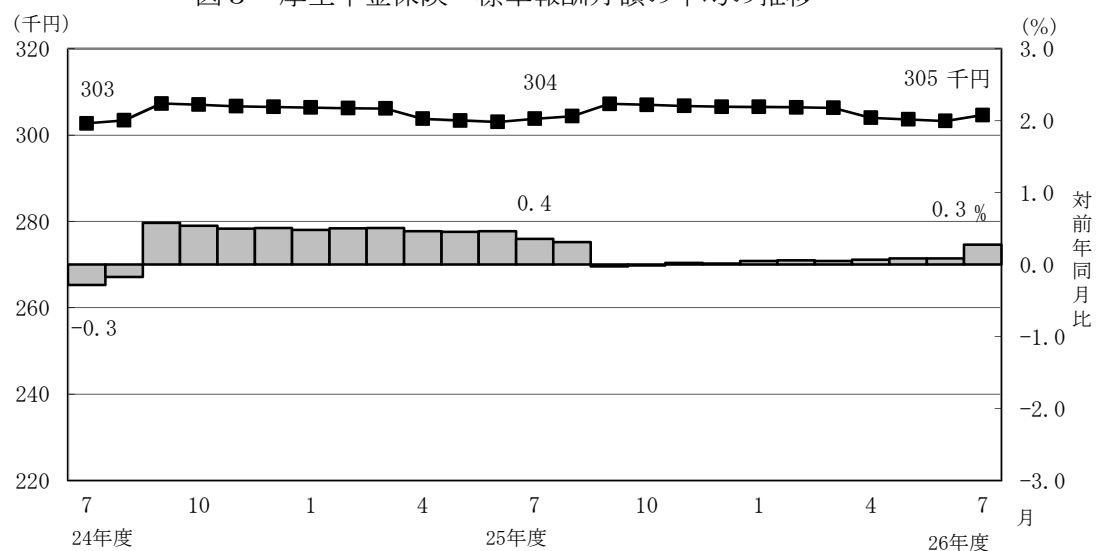
- 厚生年金保険の被保険者数は3,598万人となっており、前年同月に比べて60万人（1.7%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,289万人（対前年同月比32万人、1.4%増）、女子が1,304万人（対前年同月比28万人、2.2%増）、坑内員が6百人（対前年同月比2人、0.3%減）、船員が5万人（対前年同月比2百人、0.4%減）である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額の前平均は、30万4,609円となっており、前年同月に比べて0.3%増加している。内訳をみると、一般男子は34万5,420円（対前年同月比0.2%増）、女子は23万2,668円（対前年同月比0.7%増）、坑内員は33万5,802円（対前年同月比0.3%減）、船員が38万1,387円（対前年同月比1.3%増）である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額の前平均の推移

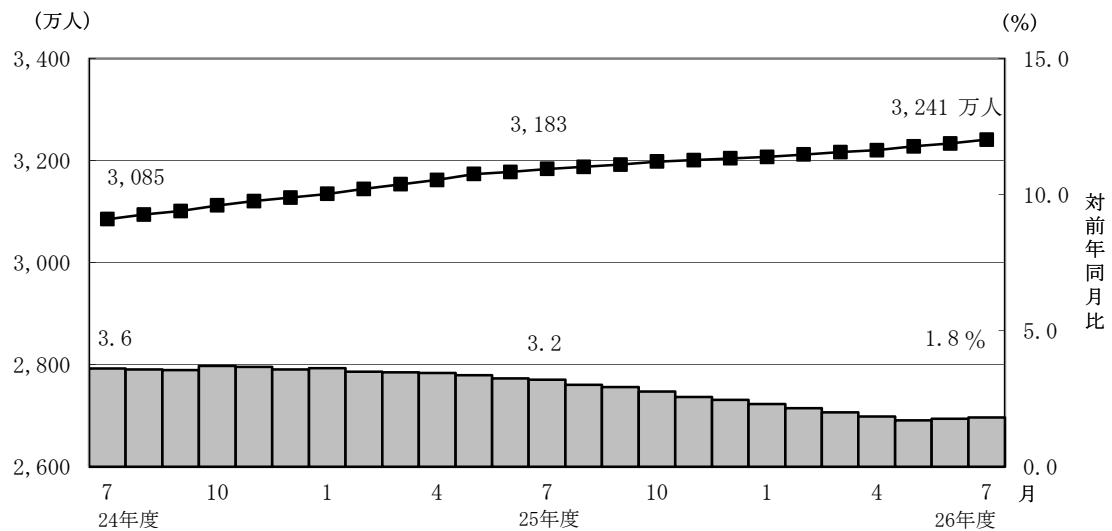


- 賞与支給事業所数は36万事業所、賞与支給被保険者数は1,212万人、標準賞与額の前平均は42万8,261円となっている。

（２）給付状況

- 平成26年7月末の厚生年金保険受給者数は3,241万人（旧法厚年分187万人、新法厚年分2,997万人、旧法船保分4万人、旧共済分53万人）で、前年同月に比べて57万人（1.8%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,684万人（旧法厚年分135万人、新法厚年分2,506万人、旧法船保分2万人、旧共済分41万人）で、前年同月に比べて47万人（1.8%）増加している。
- 障害給付の受給者数は40万人（旧法厚年分5万人、新法厚年分35万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて6千人（1.4%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は517万人（旧法厚年分47万人、新法厚年分457万人、旧法船保分2万人、旧共済分12万人）で、前年同月に比べて10万人（2.0%）増加している。

図４ 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成26年7月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万7,477円となっている。老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、8万1,756円である。

- 平成26年7月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は7万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は31万人となっている。

表 4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

		失 業 給 付								
		件数（人）			総停止年金額（千円）			平均停止月額（円）		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26 年	2 月	59,270	43,038	16,232	39,384,829	35,936,880	3,447,950	55,375	69,584	17,701
	3 月	58,449	42,179	16,270	38,385,883	34,929,369	3,456,514	54,728	69,010	17,704
	4 月	56,069	39,848	16,221	35,740,183	32,308,398	3,431,784	53,119	67,566	17,630
	5 月	66,151	47,087	19,064	42,103,885	38,068,281	4,035,604	53,040	67,372	17,641
	6 月	69,441	49,258	20,183	44,108,652	39,864,397	4,244,255	52,933	67,441	17,524
	7 月	70,020	49,349	20,671	44,523,612	40,188,904	4,334,708	52,989	67,865	17,475

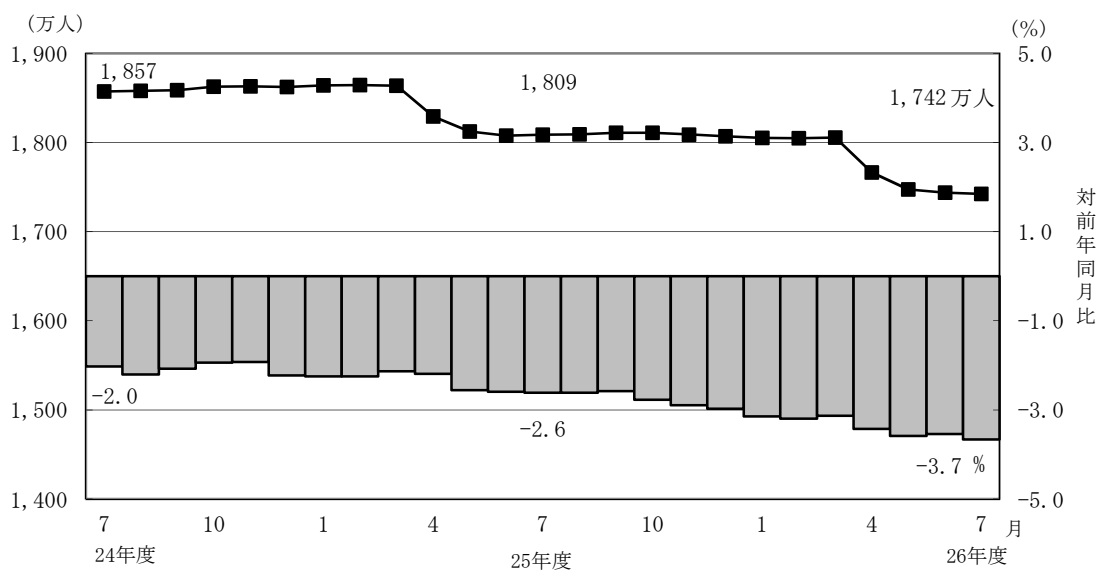
	高 年 齢 雇 用 継 続 給 付									
	件数（人）			高年齢雇用継続給付による停止総額（千円）			平均停止月額（円）			
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	
平成 26 年	2 月	342,851	333,298	9,553	43,709,361	42,820,144	889,216	10,624	10,706	7,757
	3 月	339,570	329,945	9,625	43,145,970	42,257,765	888,204	10,588	10,673	7,690
	4 月	329,366	319,932	9,434	41,753,441	40,879,454	873,987	10,564	10,648	7,720
	5 月	314,226	305,008	9,218	39,754,074	38,909,438	844,635	10,543	10,631	7,636
	6 月	308,991	299,814	9,177	39,122,084	38,279,324	842,760	10,551	10,640	7,653
	7 月	310,321	301,049	9,272	39,296,239	38,429,270	866,969	10,553	10,638	7,792

3. 国民年金

(1) 適用状況

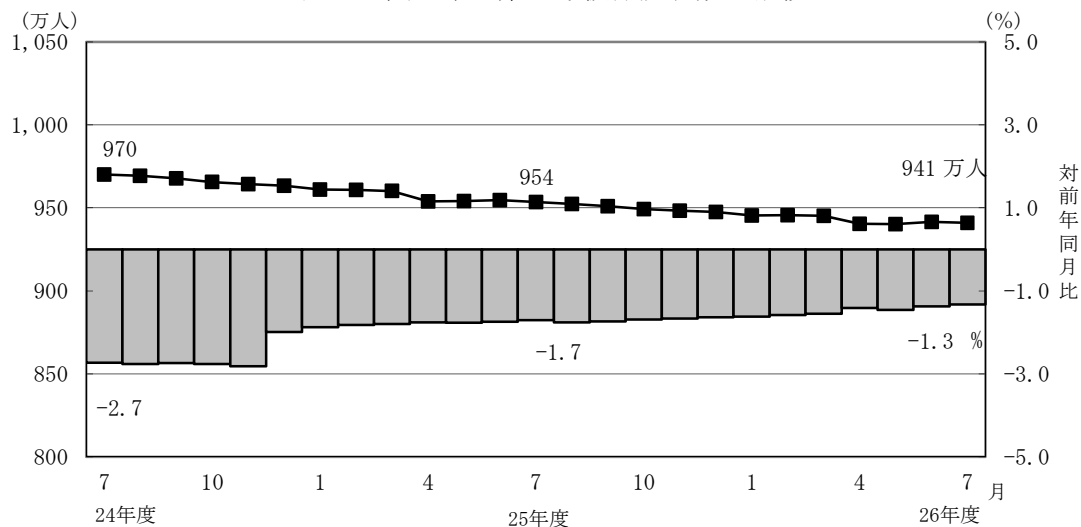
- 平成26年7月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,742万人となっており、前年同月に比べて66万人（3.7%）減少している。内訳をみると、男子は895万人（対前年同月比32万人、3.5%減）、女子は848万人（対前年同月比34万人、3.8%減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は941万人となっており、前年同月に比べて13万人（1.3%）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比2千人、1.4%減）、女子は930万人（対前年同月比12万人、1.3%減）となっている。

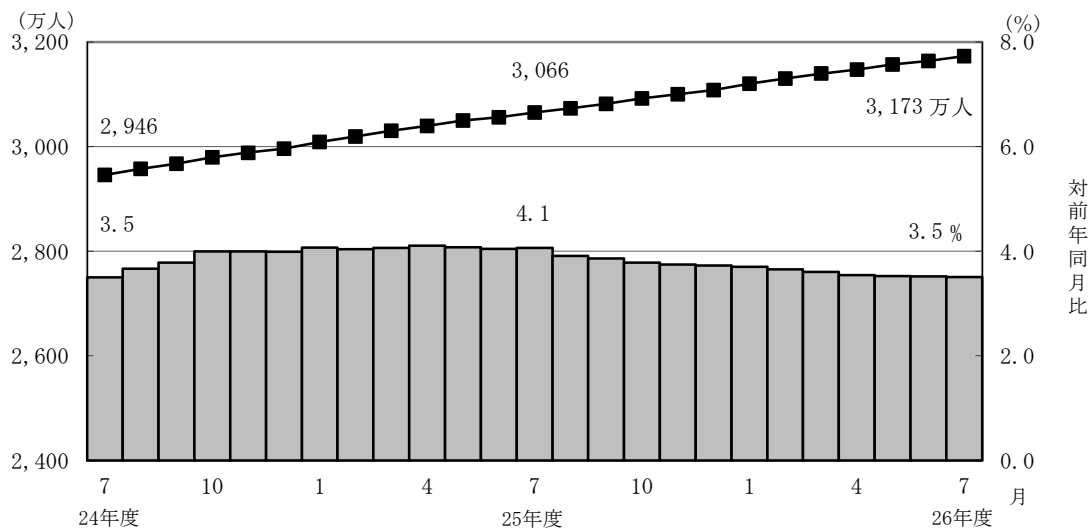
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



(2) 給付状況

- 平成26年7月末の国民年金受給者数は3,173万人（旧法拠出制202万人、基礎年金2,972万人）で、前年同月に比べて108万人（3.5%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,982万人（旧法拠出制194万人、基礎年金2,789万人）で、前年同月に比べて105万人（3.7%）増加している。
- 障害給付の受給者数は181万人（旧法拠出制6万人、基礎年金175万人）で、前年同月に比べて3万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制2万人、基礎年金8万人）で、前年同月に比べて4千人（4.3%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成26年7月末で5万4,315円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万379円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、7月是新規裁定者1万9千人のうち繰上げ受給権者が3千人となっており、繰上げ受給率は14.2%である。なお、平成25年度新規裁定者の繰上げ受給率は14.4%となっている。